

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年11月11日
【四半期会計期間】	第42期第2四半期（自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）
【会社名】	株式会社ユー・エス・エス
【英訳名】	USS Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 安藤 之弘
【本店の所在の場所】	愛知県東海市新宝町507番地の20
【電話番号】	052(689)1129
【事務連絡者氏名】	取締役副社長統括本部長 山中 雅文
【最寄りの連絡場所】	愛知県東海市新宝町507番地の20
【電話番号】	052(689)1129
【事務連絡者氏名】	取締役副社長統括本部長 山中 雅文
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第2四半期 連結累計期間	第42期 第2四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日
売上高 (百万円)	34,277	39,784	74,874
経常利益 (百万円)	16,314	20,945	36,996
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	10,945	14,223	4,022
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	11,119	15,187	4,628
純資産額 (百万円)	186,830	181,956	173,524
総資産額 (百万円)	221,198	224,213	210,699
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	43.89	57.04	16.13
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	43.81	56.93	16.10
自己資本比率 (%)	83.6	80.1	81.3
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	16,644	14,982	38,407
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	8,067	914	9,330
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	7,525	6,453	15,035
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	51,880	72,484	64,870

回次	第41期 第2四半期 連結会計期間	第42期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日	自 2021年7月1日 至 2021年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	25.38	27.56

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 1株当たり四半期(当期)純利益ならびに潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益の算定の基礎となる自己株式数については、US従業員持株会専用信託が保有する自己株式を含めております。
3. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結会計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、U S Sグループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### 1. 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間の新車登録台数（軽自動車含む）は、2,050千台（前年同期比1.1%増）となり、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだ前年同期を上回ったものの、世界的な半導体不足等による減産の動きが広がっており、依然として低い水準となりました。

中古車登録台数（軽自動車含む）は、新車販売台数の落ち込みの影響により下取りで発生する中古車が減少したことなどから3,221千台（前年同期比1.3%減）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

また、中古車需要に大きく影響を及ぼす中古車輸出市場は、新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ同水準まで回復し、輸出台数は650千台（前年同期比42.3%増）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は3,476千台（前年同期比2.8%増）、成約台数は2,366千台（前年同期比10.6%増）、成約率は68.1%（前年同期実績63.3%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高39,784百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益20,570百万円（前年同期比29.4%増）、経常利益20,945百万円（前年同期比28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14,223百万円（前年同期比30.0%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は224,213百万円となり、前連結会計年度末と比較して13,513百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が7,613百万円、オークション貸勘定が6,366百万円増加したことによるものです。

負債合計は42,257百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,081百万円増加しました。これは主に、預り金など流動負債のその他が608百万円減少した一方、オークション借勘定が6,064百万円増加したことによるものです。

純資産合計は181,956百万円となり、前連結会計年度末と比較して8,431百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益14,223百万円に対し、配当金を6,928百万円支払ったことにより利益剰余金が7,295百万円増加したことによるものです。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### オートオークション

オートオークションの出品台数は1,361千台（前年同期比10.1%増）、成約台数は876千台（前年同期比14.5%増）、成約率は64.4%（前年同期実績61.9%）となりました。

オートオークションにおける売上高は、取扱台数が増加したことに加え、成約率の上昇などにより増加しました。

営業費用については、のれん償却額や低額車コーナーの買取保証台数の減少などにより減少しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高31,929百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益19,852百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

#### 中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高水準で推移したことや販売台数が増加したことにより、増収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、オークション相場が高水準で推移したものの、相場が急上昇した前年同期と比較すると台当たり粗利益は減少したため増収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高4,229百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益85百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

## その他

リサイクル事業は、金属スクラップ相場が高値圏で推移したことによる売上高および粗利益の増加に加え、解体工事の取扱いが増加したことなどから増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高3,625百万円（前年同期比47.4%増）、営業利益622百万円（前年同期実績54百万円）となりました。

## 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して7,613百万円増加し、72,484百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は14,982百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益20,957百万円（前年同期比28.6%増）、法人税等の支払額7,179百万円（前年同期比58.4%増）によるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は914百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出616百万円（前年同期比87.6%減）、無形固定資産の取得による支出310百万円（前年同期比90.0%減）によるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は6,453百万円となりました。これは主に、配当金の支払額6,928百万円（前年同期比6.8%減）、短期借入金の純増加額630百万円（前年同期比388.7%増）によるものです。

## 3. 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、USSグループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

## 4. 優先的に対処すべき事業上および財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、USSグループが優先的に対処すべき事業上および財務上の課題について重要な変更はありません。

なお、当社は財務および事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めておりますが、当第2四半期連結累計期間において、基本方針について重要な変更はありません。

## 5. 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

(完全子会社の吸収合併について)

当社は、2021年8月3日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社ジェイ・イー・イーから、同社の所有する、当社の孫会社である株式会社H A A神戸の発行済全株式を現物配当により取得し、株式会社H A A神戸を当社の完全子会社にした後、2021年10月1日を効力発生日として、当社が株式会社ジェイ・イー・イーおよび株式会社H A A神戸の各社を吸収合併することを決議し、契約を締結いたしました。

#### (1) 吸収合併の目的

当社グループのオートオークション事業の効率化を目的として、当社は、株式会社ジェイ・イー・イーおよび株式会社H A A神戸を吸収合併することといたしました。

#### (2) 吸収合併の方法

当社を存続会社、株式会社ジェイ・イー・イーおよび株式会社H A A神戸を消滅会社とする吸収合併方式とし、株式会社ジェイ・イー・イーおよび株式会社H A A神戸は解散いたしました。

#### (3) 吸収合併の日程

合併契約締結日 2021年8月3日  
効力発生日 2021年10月1日

なお、本合併は、当社については、いずれも会社法第796条第2項に規定する簡易合併であり、株式会社ジェイ・イー・イーおよび株式会社H A A神戸については、同法第784条第1項に規定する略式合併であるため、いずれも合併契約の承認に関する株主総会の承認を得ずに実施いたしました。

#### (4) 吸収合併に関わる割当ての内容

当社の完全子会社との吸収合併であるため、株式その他金銭等の割当てはありません。

#### (5) 引継資産・負債の状況

当社は、吸収合併の効力発生日をもって、吸収合併消滅会社である株式会社ジェイ・イー・イーおよび株式会社H A A神戸からその資産、負債その他の権利義務を承継いたしました。

#### (6) 吸収合併存続会社となる会社の概要

商号 株式会社ユー・エス・エス  
事業内容 中古自動車のオークション運営  
資本金 18,881百万円

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,200,000,000
計	1,200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2021年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年11月11日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	313,250,000	313,250,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	313,250,000	313,250,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2021年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含めておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

決議年月日	2021年6月15日
付与対象者の区分および人数(名)	当社取締役(社外取締役を除く) 5 執行役員 2
新株予約権の数(個)	444
新株予約権の目的となる株式の種類、内容および数(株)	普通株式 44,400(注)1
新株予約権の行使時の払込金額(円)	1
新株予約権の行使期間	自 2021年7月2日 至 2046年6月30日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格および資本組入額(円)	発行価格 1,636 資本組入額 818
新株予約権の行使の条件	(注)2
新株予約権の譲渡に関する事項	当社取締役会の承認を要する。
組織再編成行為にともなう新株予約権の交付に関する事項	(注)3

新株予約権の発行時(2021年7月1日)における内容を記載しております。

(注)1. 新株予約権1個当たりの目的となる株式の数(以下「付与株式数」という。)は100株です。

ただし、当社普通株式につき、株式分割または株式併合を行う場合には、付与株式数を調整します。

2. 新株予約権の行使の条件は次のとおりです。

(1) 新株予約権者は、当社の取締役(指名委員会等設置会社における執行役を含む。)、監査役および執行役員のいずれの地位をも喪失した場合に限り、新株予約権を行使できるものとする。ただし、この場合、新株予約権者は、上記のいずれの地位をも喪失した日の翌日から10日を経過する日までの間に限り、募集新株予約権を行使することができる。

(2) 新株予約権者が募集新株予約権を放棄した場合には、かかる募集新株予約権を行使することができないものとする。

3. 組織再編成行為にともなう新株予約権の交付に関する事項は次のとおりです。

当社が、合併（当社が合併により消滅する場合に限る。）、吸収分割もしくは新設分割（それぞれ当社が分割会社となる場合に限る。）、株式交換もしくは株式移転（それぞれ当社が完全子会社となる場合に限る。）（以上を総称して以下、「組織再編行為」という。）をする場合において、組織再編行為の効力発生日（吸収合併につき吸収合併がその効力を生じる日、新設合併につき新設合併設立株式会社成立の日、吸収分割につき吸収分割がその効力を生じる日、新設分割につき新設分割設立株式会社の成立の日、株式交換につき株式交換がその効力を生じる日、および株式移転につき株式移転設立完全親会社の成立の日をいう。）の直前において残存する募集新株予約権を有する新株予約権者に対し、それぞれの場合につき、会社法第236条第1項第8号イからホまでに掲げる株式会社（以下、「再編対象会社」という。）の新株予約権をそれぞれ交付することとする。ただし、本新株予約権の発行要領に準じた条件に沿って再編対象会社の新株予約権を交付する旨を、吸収合併契約、新設合併契約、吸収分割契約、新設分割計画、株式交換契約または株式移転計画において定めることを条件とする。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

（3）【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

（4）【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	-	313,250,000	-	18,881	-	4,583



(5) 【大株主の状況】

(2021年9月30日現在)

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	34,220	13.70
SSBTC CLIENT O MNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東 京支店 カストディ業務部)	ONE LINCOLN STREET, BOSTON MA USA 02111 (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	12,828	5.13
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	11,852	4.74
瀬田 大	名古屋市瑞穂区	9,391	3.76
瀬田 衛	名古屋市千種区	9,200	3.68
安藤 之弘	名古屋市瑞穂区	9,176	3.67
野村信託銀行株式会社(退職給 付信託三菱UFJ銀行口)	東京都千代田区大手町2丁目2番2号	8,400	3.36
株式会社服部モータース	名古屋市千種区日進通2丁目5番地	7,280	2.91
公益財団法人服部国際奨学財 団	名古屋市瑞穂区檀溪通5丁目21番地2	7,200	2.88
株式会社エイティーン	名古屋市瑞穂区岳見町4丁目81-2	5,745	2.30
計		115,294	46.17

(注) 上記のほか、大量保有報告書(変更報告書)において、以下の株式を保有している旨報告を受けております。

- (1) 株式会社三菱UFJ銀行他2社連名により2018年4月16日付けで提出された変更報告書において、2018年4月9日現在で以下の株式を保有している旨記載されておりますが、当社として2021年9月30日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	8,400	3.36
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	8,196	3.28
三菱UFJ国際投信株式会社	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号	1,139	0.45
合計		17,736	7.10

- (2) マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー他 1 社連名により2020年12月4日付けで提出された大量保有報告書において、2020年11月30日現在で以下の株式を保有している旨記載されておりますが、当社として2021年9月30日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー	米国 02199 マサチューセッツ州、ボストン、ハンティントンアベニュー111	11,569	4.63
MFSインベストメント・マネジメント株式会社	東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル	837	0.33
合計		12,407	4.96

- (3) エフエムアール エルエルシー他 1 社連名により2021年3月22日付けで提出された変更報告書において、2021年3月15日現在で以下の株式を保有している旨記載されておりますが、当社として2021年9月30日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
エフエムアール エルエルシー	米国 02210 マサチューセッツ州 ボストン、サマー・ストリート245	14,936	5.98
ナショナル ファイナンシャルサービス エルエルシー	米国 02210 マサチューセッツ州 ボストン、シーポート・ブルバード200	0	0.00
合計		14,937	5.98

- (4) インベスコ・アセット・マネジメント株式会社他 2 社連名により2021年9月22日付けで提出された大量保有報告書において、2021年9月15日現在で以下の株式を保有している旨記載されておりますが、当社として2021年9月30日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
インベスコ・アセット・マネジメント株式会社	東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー14階	18,587	7.44
インベスコ アドバイザーズ インク	Two Peachtree Pointe 1555 Peachtree Street, N.E. Suite 1800 Atlanta, Georgia 30309 U.S.A	4,024	1.61
インベスコ ホンコン リミ テッド	41/F, Champion Tower, 3 Garden Road, Central, Hong Kong	359	0.14
合計		22,972	9.20

(6)【議決権の状況】  
【発行済株式】

2021年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 63,586,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 249,620,300	2,496,203	-
単元未満株式	普通株式 43,500	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	313,250,000	-	-
総株主の議決権	-	2,496,203	-

(注)1. U S S 従業員持株会専用信託が所有する株主名簿上の当社株式283,000株(議決権の数2,830個)につきましては、「完全議決権株式(その他)」に含めて表示しております。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株(議決権の数6個)含まれております。

【自己株式等】

2021年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ユー・エス・エス	愛知県東海市新宝町507番地の20	63,586,200	-	63,586,200	20.29
計	-	63,586,200	-	63,586,200	20.29

(注)自己名義所有株式としては、上記のほか単元未満株式86株を所有しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2021年7月1日から2021年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	67,770	75,384
オークション貸勘定	1 6,596	1 12,963
受取手形及び売掛金	2,215	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	2,124
有価証券	3,000	3,000
棚卸資産	2 1,028	2 882
その他	940	1,957
貸倒引当金	23	19
<b>流動資産合計</b>	<b>81,528</b>	<b>96,292</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	35,548	34,463
土地	63,686	63,702
建設仮勘定	30	159
その他(純額)	4,037	3,521
<b>有形固定資産合計</b>	<b>103,302</b>	<b>101,846</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	8,906	8,636
その他	6,281	6,096
<b>無形固定資産合計</b>	<b>15,188</b>	<b>14,732</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産	10,823	11,476
貸倒引当金	143	134
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>10,680</b>	<b>11,341</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>129,171</b>	<b>127,920</b>
<b>資産合計</b>	<b>210,699</b>	<b>224,213</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
オークション借勘定	111,788	117,853
支払手形及び買掛金	707	459
短期借入金	-	630
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	7,408	6,840
引当金	767	798
その他	6,030	5,421
流動負債合計	26,922	32,223
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,911	2,634
退職給付に係る負債	776	831
資産除去債務	617	622
その他	5,947	5,946
固定負債合計	10,253	10,034
負債合計	37,175	42,257
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,911	18,911
利益剰余金	196,315	203,610
自己株式	57,435	57,275
株主資本合計	176,673	184,128
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	378	1,086
土地再評価差額金	5,636	5,636
退職給付に係る調整累計額	21	19
その他の包括利益累計額合計	5,278	4,569
新株予約権	432	504
非支配株主持分	1,697	1,892
純資産合計	173,524	181,956
負債純資産合計	210,699	224,213

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月30日)
売上高	34,277	39,784
売上原価	13,311	14,746
売上総利益	20,966	25,038
販売費及び一般管理費	5,064	4,467
営業利益	15,901	20,570
営業外収益		
受取利息	3	2
不動産賃貸料	312	374
雑収入	187	94
営業外収益合計	503	471
営業外費用		
支払利息	7	6
不動産賃貸原価	75	85
雑損失	8	4
営業外費用合計	90	96
経常利益	16,314	20,945
特別利益		
固定資産売却益	14	13
その他	0	-
特別利益合計	15	13
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	31	1
その他	7	-
特別損失合計	38	1
税金等調整前四半期純利益	16,291	20,957
法人税等	5,272	6,479
四半期純利益	11,018	14,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	255
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,945	14,223

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	11,018	14,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	707
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	101	709
四半期包括利益	11,119	15,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,046	14,932
非支配株主に係る四半期包括利益	73	255



## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,291	20,957
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	2,592	2,509
貸倒引当金の増減額(は減少)	881	269
賞与引当金の増減額(は減少)	11	12
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	47	30
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	45	56
受取利息及び受取配当金	67	16
支払利息	7	6
有形固定資産除売却損益(は益)	11	12
オークション勘定の増減額	1,944	302
売上債権の増減額(は増加)	744	90
仕入債務の増減額(は減少)	23	247
未払金の増減額(は減少)	452	149
預り金の増減額(は減少)	528	710
その他	273	329
小計	21,113	22,140
利息及び配当金の受取額	270	228
利息の支払額	7	7
法人税等の支払額	4,531	7,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,644	14,982
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	4,964	616
有形固定資産の売却による収入	21	13
無形固定資産の取得による支出	3,094	310
その他	29	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,067	914
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	129	630
長期借入れによる収入	2,980	-
長期借入金の返済による支出	2,209	2,277
預り保証金の預りによる収入	69	90
預り保証金の返還による支出	76	61
自己株式の取得による支出	2,978	0
自己株式の売却による収入	2,109	2,158
配当金の支払額	7,436	2,6,928
非支配株主への配当金の支払額	51	60
ファイナンス・リース債務の返済による支出	61	5
その他	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,525	6,453
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,051	7,613
現金及び現金同等物の期首残高	50,829	64,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,51,880	1,72,484

【注記事項】

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(信託型従業員持株インセンティブ・プランにおける会計処理)

当社は、従業員の福利厚生の充実および当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

取引の概要

当社は、USSグループ従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」(以下「本プラン」という。)を2020年6月より再導入しております。

本プランでは、当社が信託銀行に「USS従業員持株会専用信託」(以下「従持信託」という。)を設定し、従持信託は、設定後3年間にわたり「USS従業員持株会」(以下「持株会」という。)が取得すると見込まれる数の当社株式を市場より予め取得し、その後、信託終了まで毎月持株会へ売却します。なお、従持信託は当社株式を取得するための資金確保のため、当社保証による銀行借入を行っております。

信託終了時点において、持株会への当社株式の売却を通じて従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当社株式売却益相当額が信託残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積した場合には、当該株式売却損相当の借入金残債について、責任財産限定特約付金銭消費貸借契約に基づき当社が弁済することになります。

信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度690百万円、357千株、当第2四半期連結会計期間530百万円、274千株であります。

総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度711百万円、当第2四半期連結会計期間544百万円

(新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. オークション貸勘定およびオークション借勘定

前連結会計年度(2021年3月31日)

オークション貸勘定およびオークション借勘定は、オークション業務に関連して発生する会員に対する債権および債務であり、その主なものは、立替および預り車両代金、未収出品料収入、未収成約料収入および未収落札料収入であります。

なお、オークション貸勘定およびオークション借勘定残高は、連結会計年度末日とオークション開催日との関連によって増減いたします。

当第2四半期連結会計期間(2021年9月30日)

オークション貸勘定およびオークション借勘定は、オークション業務に関連して発生する会員に対する債権および債務であり、その主なものは、立替および預り車両代金、未収出品料収入、未収成約料収入および未収落札料収入であります。

なお、オークション貸勘定およびオークション借勘定残高は、第2四半期連結会計期間末日とオークション開催日との関連によって増減いたします。

2. 棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
商品及び製品	789百万円	663百万円
原材料及び貯蔵品	238	219

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
貸倒引当金繰入額	11百万円	0百万円
従業員給料・賞与	1,094	1,111
賞与引当金繰入額	267	309
退職給付費用	74	64
減価償却費	318	183
のれん償却額	881	269

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
現金及び預金勘定	54,780百万円	75,384百万円
有価証券勘定に含まれる合同運用指定金銭信託	3,000	3,000
預入期間が3か月を超える定期預金	5,900	5,900
現金及び現金同等物	51,880	72,484

2. 「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入にともない、四半期連結キャッシュ・フロー計算書の各項目には従持信託に係るキャッシュ・フローが含まれております。その主な内容は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
従持信託における利息及び配当金の受取額	0百万円	10百万円
従持信託への配当金の支払額	-	10
従持信託における自己株式の売却による収入	109	158
従持信託における自己株式の取得による支出	978	-
従持信託における長期借入れによる収入	980	-
従持信託における長期借入れ金の返済による支出	99	167

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月23日 定時株主総会	普通株式	7,436	29.80	2020年3月31日	2020年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年11月9日 取締役会	普通株式	6,928	27.75	2020年9月30日	2020年12月11日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、従持信託が保有する株主名簿上の当社株式441千株に対する配当金12百万円を含めて記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月15日 定時株主総会	普通株式	6,928	27.75	2021年3月31日	2021年6月16日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、従持信託が保有する株主名簿上の当社株式364千株に対する配当金10百万円を含めて記載しております。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年11月8日 取締役会	普通株式	7,290	29.20	2021年9月30日	2021年12月10日	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、従持信託が保有する株主名簿上の当社株式283千株に対する配当金8百万円を含めて記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,246	3,571	31,818	2,459	34,277	-	34,277
セグメント間の 内部売上高または 振替高	186	0	186	26	213	213	-
計	28,432	3,571	32,004	2,486	34,491	213	34,277
セグメント利益	15,698	98	15,796	54	15,851	50	15,901

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額50百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,929	4,229	36,158	3,625	39,784	-	39,784
セグメント間の 内部売上高または 振替高	146	0	146	1	147	147	-
計	32,075	4,229	36,305	3,627	39,932	147	39,784
セグメント利益	19,852	85	19,938	622	20,561	9	20,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	オート オークション	中古自動車 等買取販売	計		
出品手数料	7,538	-	7,538	-	7,538
成約手数料	7,394	-	7,394	-	7,394
落札手数料	11,367	-	11,367	-	11,367
バイクオークション 手数料	438	-	438	-	438
商品売上高	666	-	666	-	666
中古自動車買取販売	-	2,372	2,372	-	2,372
事故現状車買取販売	-	1,856	1,856	-	1,856
リサイクル事業	-	-	-	3,579	3,579
その他	4,463	-	4,463	46	4,510
顧客との契約から 生じる収益	31,868	4,229	36,097	3,625	39,723
その他の収益(注)2	60	-	60	-	60
外部顧客への売上高	31,929	4,229	36,158	3,625	39,784

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業等であり  
ます。

2. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準(企業会計基準第10号)」および「リース取引に  
関する会計基準(企業会計基準第13号)」に基づく収益であります。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	43円89銭	57円04銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	10,945	14,223
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	10,945	14,223
普通株式の期中平均株式数(千株)	249,346	249,347
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	43円81銭	56円93銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	470	452
(うち新株予約権(千株))	(470)	(452)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 従持信託が所有する当社株式を、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前第2四半期連結累計期間258千株、当第2四半期連結累計期間316千株)。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得および消却)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項および自己株式の消却方針について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上と株主還元の実現を図るものであります。

2. 取得に係る事項内容

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式   |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 6,000,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.4%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 10,000百万円(上限)                                  |
| (4) 取得方法       | 市場取引   |
| (5) 自己株式取得の日程  | 2021年11月9日～2022年5月31日                          |

3. 自己株式の消却の方針

当社は、2021年9月30日時点で、発行済株式総数の20.3%の自己株式を保有しておりますが、上記2.の自己株式の取得が完了した後、すみやかに発行済株式総数の5%を残して消却する予定であります。消却する株式の総数および消却予定日が決定しましたら、改めて開示いたします。

(ご参考) 2021年9月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	249,663,714株
自己株式数	63,586,286株

## 2【その他】

2021年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....7,290百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....29円20銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2021年12月10日

(注) 2021年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年11月11日

株式会社ユー・エス・エス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人  
名古屋事務所

指定有限責任社員 公認会計士 鈴木 賢 次  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 大橋 敦 司  
業務執行社員

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユー・エス・エスの2021年4月1日から2022年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2021年7月1日から2021年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユー・エス・エス及び連結子会社の2021年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。